

共通開講科目(アオッサ) 東日本大震災をどう受け止めるか／福井大学 (シラバス入力票)

| | |
|-----------------------------|--|
| 科目名/提供大学名 | 東日本大震災をどう受け止めるか／福井大学 |
| 科目名(英文) | On The Great East Japan Earthquake |
| 対象学年 | 原則として、全学年。(但し当該年度卒業予定者は除く) |
| 開講時期 | 後期:集中(2/13~2/16①②③④限目)予定 |
| 単位数 | 2単位 |
| 科目区分 | 選択(地域コア科目群:「原子力・エネルギー分野」) |
| 授業形態・開講形態 | 講義・演習 |
| 担当教員名 | 寺岡 英男, 宇埜 正美, 木村 哲也, 酒井 明子, 安田 仲宏, 佐々木康文(非) |
| オフィスアワー | 講義の前後に質問等を受け付けます。 |
| 教員メールアドレス | 世話担当:寺岡英男／teraoka@u-fukui.ac.jp |
| 概要 | 東日本大震災は、科学技術、環境、産業と雇用、地域と生活、医療、教育など全般に亘ってこれまでの枠組みの見直しを迫っている。授業では、専門の立場から支援活動を行った担当教員等が、地震と津波の災害、原子力発電事故、それに伴う医療活動、メンタルヘルスケア、避難者の状況についてその実際を語る。 |
| 学習・教育目標との関連 | 各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。 |
| 授業目標・目的 | 専門の立場から支援活動を行った担当教員等からの、地震と津波の災害、原子力発電事故、それに伴う医療活動、メンタルヘルスケア、避難者の状況についての講義から、この災害をどう受け止めたら良いのか、技術、医療、健康、生活等の状況を通して、大学で学ぶ者として、そして一人ひとりの市民の問題として考えていく場としたい。 |
| 身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力) | <input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力 |
| 学生の目標・到達目標 | 東日本大震災というこれまでにない重大な現実的な問題について、総合的に取り上げることで、学生一人一人が主体的に受け止め、学んでいく一つの契機としてほしい。 |
| 授業計画・授業内容 | ※講師の都合等により、授業計画が変更になる可能性がある。 1. オリエンテーション(寺岡英男) 2. 原子力災害の特徴と放射線(安田仲宏) 3. 原子力防災計画と大学の役割(安田仲宏) 4. 福島第一原子力発電所事故の経緯(宇埜正美) 5. 事故後の安全対策と福島炉の廃止措置(宇埜正美) 6. グループ討議(寺岡英男) 7. グループ討議・レポート作成(寺岡英男) 8. 東日本大震災・福島原発事故と情報((非)佐々木康文) 9. 福島原発事故被災自治体の現状と課題ー飯館村を中心に((非)佐々木康文) 10. 医療からみた日本大震災ー複合型災害の特殊性ー(木村哲也) 11. 東日本大震災から得た教訓ー自分の施設が大震災に見舞われたらどうするかー(木村哲也) 12. 東日本大震災における医療活動(酒井明子) 13. 災害初期から中長期におけるこころのケア(酒井明子) 14. パネル討議(寺岡英男) 15. パネル討議とレポート作成(寺岡英男) |
| 授業方法 | パワーポイント・画像等での講義に、節を区切ったグループ討議を入れて、授業を進めます。 |
| キーワード | 東日本大震災、科学技術、環境、地域と生活、医療と教育、原子力発電事故、医療・心のケア、避難者とコミュニティ、東日本大震災から学ぶもの |
| 教科書 | 教科書はなし。毎時資料を印刷し、配布します。 |
| 参考書 | 必要に応じ、参考書を紹介します。 |
| 評価方法・評価基準 | 何回か的小レポート、グループ討議の状況、そして最終的なレポートを総合して評価します。なお1/3以上欠席した学生は不可とする。 |
| 関連科目 | |
| 履修の要件 | 開講年度に卒業予定者は履修不可 |
| 必要な事前・事後学習 | 適時、担当教員からの指示に従うこと |
| その他・注意事項 | 集中講義のため、原則、4日間すべて出席すること。 |